



北海道新聞

住宅広告特集

保存版

2面

北海道の住宅政策

3面

住宅関連の税制度

4面

長期優良住宅
安心の住まい

5面

省エネ・創エネ、
注目される太陽光
発電システム

6面

買い資金計画

「北方型住宅ECO」でマイホームを実現。 家族の笑顔があふれる快適な住まい。

北海道が推奨している「北方型住宅」は積雪寒冷な北国での暮らしを快適な性能や安心のシステムで支える北海道独自の住まいの基準。この「北方型住宅」の省エネルギー性能を国内最高水準にまで高め、耐震性能や耐久性などを向上させた「北方型住宅ECO」は国から補助金が受けられる長期優良住宅先導事業に3年連続で採択され、平成22年度は道内各地で222戸が建設されています(採択名は北方型住宅ECOプラス)。札幌市北区の南あいの里で、念願のマイホームを新築した進藤さん一家も、「北方型住宅ECO」の軒、引越越しを済ませた進藤さん宅を訪ね、ご家族の快適な暮らしぶりをお聞きしました。



オープンキッチンで、開放感のあるリビング&ダイニング



念願のマイホームに笑顔があふれる進藤さんご一家

モデルハウスの見学で 出会った建築家と作る 北方型住宅ECO

新興住宅地として整備が進む南あいの里の緑豊かな南西角地に、進藤さん一家が暮らす北方型住宅ECOがあります。外壁は金属サイディングと木材、菱葺き銅板の3種類を使用した和風モダンなデザイン。カーポートと2階に張り出したウッドデッキが一体となった、和洋ミックスの雰囲気があります。

進藤さん一家は文徳さん(43歳)、智子さん(43歳)夫妻と、もえこさん(中1)、れん君(小5)の4人家族。賃貸アパートから二戸建てへの転居を考え、当初は中古住宅を検討していたそうですが、「いろんなモデルハウスを見学するうちに、中古も注文住宅もそれほど価格に差がないことがわかり、新築に切り替えて土地を探し始めたんです」と、文徳さんはマイホーム実現への計画を振り返ります。

土地探しには約2年をかけ、自然の多い南あいの里の一区画を購入した進藤さんは、施工を拓友建設(札幌市北区)に依頼。そこで、北方型住宅の基本性能や補助金についてのアドバイスを受け、補助金が受けられる北方型住宅ECOでの建設を決めたそうです。また、設計は同社からの紹介で、奈良建築環境設計室(札幌市北区)の一級建築士、奈良謙伸さんと奈良顕子さんが担当。「温熱環境は、



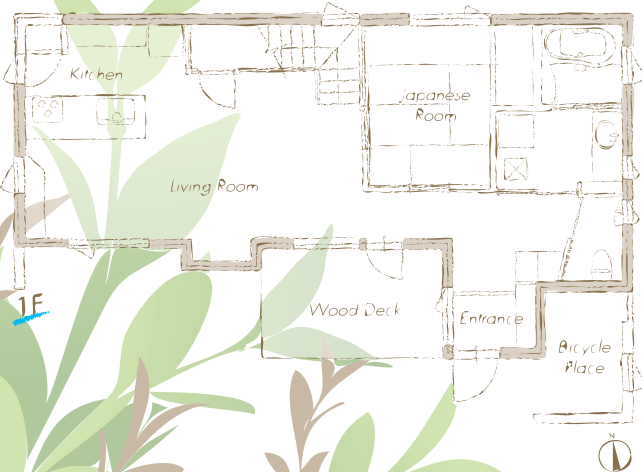
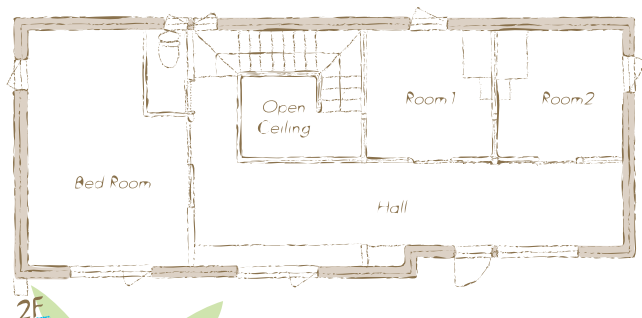
ガレージと2階のウッドデッキが一体感を感じさせる和風モダンな外観

きる限り省エネで、デザインは和風を取り入れて奇抜すぎず、凡庸じゃない」というおぼろげなイメージが形になっていきました。

一階は玄関からリビング、オープンキッチンのダイニングまで扉も仕切りもない空間で、二階には個室にもなる来客用の和室を設けています。リビングでテレビを見るときも、キッチンに立つても、視線は常に南向きで、「自然を見ながら料理ができて、家のどこにいても家族の気配が感じられるのがいいですね」と智子さん。天井の梁をそのまま現した古民家風の造りも、外観の印象とマッチしています。

ランニングコストを 抑えた省エネ設計 2階南側ホールは 家族全員の憩いの場

さらに特徴的なのは吹き抜けの階段を上った2階フロアで、南側全面を使った廊下のようなホールが家族共有の趣味や遊びのスペースになっています。「普通は南側に子供部屋を作るところですが、住宅を家族全体で使うという発想から、日当たりのいい南側にホールとしてのスペースを確保しました。北方型住宅ECOの性能基準で設計すると、家のどこに



2階の南側は明るい日差しに包まれた家族の趣味や憩いのスペース

も暖かいので、このように開放的な空間を作ることも可能なんです」と、設計を担当した奈良さん。文徳さんのパソコンやギター、もえこさんのピアノなどが置かれたそのスペースは子供達にも好評で、もえこさんの友達が集まり、演奏会が始まることもあるそうです。

進藤さんがこだわった温熱環境のうち、暖房は地中熱ヒートポンプを熱源とした温水セントラルヒーティングで、給湯は空気の熱を利用したエコキヌート(自然冷媒ヒートポンプ給湯機)。キッチンにはIHクッキングヒーターを付けたオール電化で、「引越して3カ月ほどですが、灯油やガスを使っていた賃貸時代より光熱費がすでに安くなっているのがうれしいですね」と智子さん。空気の流れて全室を換気するパッシブ換気によって、結露も全くないそうで、「息子の鼻炎の症状も出ないんですよ」。熱損失係数が1.3W/m²K以下と、次世代省エネ基準を上回る断熱レベルを採用している北方型住宅ECOの住まいは、「ランニングコストを抑えて、快適に暮らしたい」という進藤さん一家の要望に合致したようです。

週末にはウッドデッキでバーベキューを楽しみ、今後はまだ手つかずの庭作りなど、夢が広がる進藤さん一家。北方型住宅ECOの基準と家族の住まい方に合わせたデザインで実現したマイホームには家族の笑顔があふれていました。